日本医療機能評価機構認定病院
那珂川病院だより
VOL.56 平成26年1月
〒811-1345 福岡市南区向新町2丁目17-17
TEL.092-565-3531（代）
FAX.092-566-6460
http://www.nakagawa-hp.com
（携帯電話でもご覧いただけます）

病院理念 ― 思いやりそして努力　奉仕そしてよろこび

新年のごあいさつ

理事長　井上史子

明けましておめでとうございます。

アベノミクスに対する期待感からでしょうか、景気が回復して力強い日本が戻ってくるような希望の光の中で、新しい年を迎えることが出来ました。今年の干支は午、午年は飛躍年です。アベノミクスという馬に飛び乗って進んでいきたいものだと思っております。

昨年は東北地方が、あの恐ろしい津波の災害から立ち直ることを願いながら見たＮＨＫの朝の連続テレビ小説「あまちゃん」が大ヒット、「じぇじぇじぇ」という北三陸地方の漁師や海女さんが使っている方言が流行語になりました。また大手銀行員の主人公が次々と降りかかる困難に立ち向かい「やられたらやり返す。倍返しだ」と叫びながら頑張るテレビドラマが40％を超える視聴率を記録し、久しぶりに地方目線の社会現象が大きな話題となりました。日本の心のふるさと富士山が世界文化遺産に登録されて喜びに沸いている中、9月8日には2020年オリンピックの東京招致決定という大ニュースが飛び込んで二重の喜びになりました。オリンピックの開催は世界中の人々に日本の良さをアピールする良い機会になりますが、酷暑の時期の開催となるのが少し心配です。

早春の富士山

私は半世紀前の1964年10月10日東京オリンピック開会式におけるＮＨＫの北出清五郎アナウンサーの名調子「世界中の秋晴れを東京に持って来てしまったような素晴らしい秋日和でございます」というアナウンスを今でも忘れることが出来ません。2020年の東京オリンピックでは、この日本の素晴らしい秋に代わる何かを世界中の人達にお伝えしないといけないのではないでしょうか。そして何よりも私は私自身、私の家族、友人達（友人ではありませんが、オリンピック招致を決断された石原慎太郎前東京都知事）、皆元気で2020年7月24日を迎え、第32回東京オリンピック開会式において御歳87歳となられる天皇陛下が、お元気に開会宣言なさるお姿を拝見できることを心から願っております。

さて昨年の那珂川病院に目を転じますと、1月にデイサービス清和を開設いたしました。現在は25名～30名の高齢者のお世話をいたしております。6月には日本医療機能評価機構の認定を更新、また病院隣接地に3階建ての在宅支援センターを建設して、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を開設し、地域の皆様にお気軽にご利用していただけるようにしました。7月に開催しました夏祭りには約2000名の方々にお集まりいただき、大変賑やかで元気な夏祭りになりましたことを感謝いたします。10月には緩和ケア病棟を４床増床して、現在24床の緩和ケア病棟として運営いたしております。

本年は那珂川病院が社会医療法人となり４年目の年を迎えました。9月には那珂川町片縄に「老人ホーム清和片縄」を開設予定にしております。厳しい経済環境の中、今年も地域に役立つ病院を目指して、職員一同が一丸となって頑張っていきたいと念じております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

緩和ケアだより

ボランティアだより

今回はマッサージのボランティアとして活動いただいている、福岡県いやしのケア 赤十字奉仕団『なごみ』の活動内容をご紹介します。

毎月第3月曜日14：00～15：00まで、患者さんやご家族に癒しのケアを提供してくださいます。「なごみ」は平成10年に赤十字の人道・博愛の理念を基調に、心身のストレスの緩和、精神的なケアを目的として設立されたそうです。

癒しのケアはマッサージとは少し異なり、衣服の上から両手を用いて肩や背中をさすります。当病棟では患者さんの状態によって、オイルを使用しハンドケアやフットケアも行います。やさしくなでたり、さすったりすることで手のぬくもりを感じ癒しになればとの考えから、“マッサージ”ではなく“癒しのケア”と言われます。音楽を聴きながらケアを受ける、最高の癒しを味わっていただける時間です。

当院緩和ケア病棟では随時ボランティアを募集しています。ご興味のある方、実際のボランティア活動をご覧になりたい方、お気軽にご連絡ください。

また、昨年９月から２月まで全６回でボランティア養成講座を開催しています。残り２回となりましたが、前回までをお聞きいただけなかった方も是非お越しください。たくさんのご参加をお待ちしております。

●ボランティア養成講座

平成26年1月18日(土) 14:45～15:45

テーマ『社会的援助・チームアプローチ』

講師 ●ソーシャルワーカー 担当者 ●訪問看護師主任 松下 徳代
●管理栄養士 林田 由美子

平成26年2月15日(土) 11:45～12:45

テーマ『精神的ケア・スピリチュアルケア』

講師 ●4階病棟師長 植木 昭代

※日程が一部変更になっております。よろしくお願いいたします。

会 場 那珂川病院／５階研修室

問い合わせ ボランティアコーディネーター 山下 公子（ひろこ）

緩和ケア病棟が24床に増えました

月江教昭　原口 勝　犬塚貞明

平成25年10月より緩和ケア病棟の病床数が20から24に増えました。スタッフも増員となっています。緩和ケア専従医は3名で、緩和ケア病棟だけでなく緩和ケア外来・在宅緩和ケアの診療も行っています。看護師は25名となり、夜勤は3名で行っています。看護助手は4名となり、内1名がボランティアコーディネーターを務めています。

緩和ケア病棟施設概要

病　室

全病床24床で全室個室です。
室料あり 7室、室料なし 17室

その他の設備

食堂・談話室、ファミリーキッチン、家族控室（宿泊可・有料）、面談室、説明室、介護浴室、一般浴室、洗濯コーナー

緩和ケア病棟へのご入院について

- 主に、治癒が望めないと判断された悪性腫瘍の患者さんをケアします。
- 患者さんまたはご家族が病名・病状について理解していることが入院の条件です。
- 体調が安定したら、外泊したり、退院して緩和ケア外来に通院したり、在宅ケアを受けることもできます。訪問診療は当院の緩和ケア医、訪問看護は当院の訪問看護ステーションが担当します。

緩和ケア外来・相談のご案内

緩和ケア外来を受診される方や入院の相談や見学を希望される方は、必ず電話予約をお願いいたします。

●電話受付時間

平日 9:00～17:00　TEL 092-565-3531(代)

連携室の看護師かMSW（相談員）が対応します。

●緩和ケア外来

受付時間（予約制）月・火・水・木　14:00 ～ 16:30

外来通院での緩和ケアを行います。緩和ケア病棟退院後の診療も行います。

入院費について

医療費は、健康保険制度による給付割合に従った料金です。
高額医療給付制度の適用があります。

母のこと

野又文子（矢野壽子氏の長女）

こんにちは、野又です。今日は母のことを少しお話しさせていただきます。平成25年の5月9日に那珂川病院に転院してきて、亡くなる6月27日までの50日の間、先生はじめ、看護師さん、スタッフの方には大変お世話になりました。

母にとって子供は私と妹の２人だけですが、私たち姉妹は早くに結婚して家を出たので、一緒に過ごした時間は短かったです。しかし、こちらに入院しての50日間は母と長い時間を過ごすことができました。天気の良い日は車椅子で散歩に行きました。部屋にいる時は動かなくなった足をマッサージしたりマニキュアを塗ったり、たくさん話もしました。６人の孫と２人のひ孫もよく顔を見せに来て、母を喜ばせてくれました。

多くの趣味を持つ母の一番の楽しみはパッチワークでした。入院中も毎日少しずつパッチワーク作業をしては、でき上がった作品をみんなに見せていました。次は何を作ろうかと意欲を見せていましたが、亡くなる一週間前頃からは体の痛みも増し、手も思うように動かせず生きる気力も失ってきていました。その頃の母は、部屋で１人になるのが怖いと言い出し、父と私と妹の３人で、24時間誰か母のそばにいてあげようと常に一緒に過ごしました。

6月26日、亡くなる前日にベッドのまま参加した音楽会では「矢野さんが来られたので矢野さんが大好きな『川の流れのように』をみんなで歌いましょう」とピアノ演奏をしてくださいました。短い時間の参加でしたが、その時の母の嬉しそうな顔と、たくさんの方が母のそばに来て励ましてくださったことは今でも忘れられません。

そして27日、母が亡くなる時はそばにいて、たくさんの「ありがとう」が言えました。亡くなった後も、看護師さん達にお風呂に入れていただき、きれいになった母を囲んで、先生をはじめ、たくさんのスタッフの方にお別れ会をしていただいた感激は言葉にならないものでした。最後まで母のために尽くしてくださり、ありがとうございました。

11月7日に、母が楽しみにしていた孫の結婚式がありました。そして先日、来年３人目のひ孫が生まれるという嬉しい知らせがありました。

今、父は実家で１人暮らしをしています。たくさんの友達と午前中はグラウンドゴルフ、午後からは碁を打ちに、趣味を楽しんでいるようです。みんな元気にそれぞれ頑張っています。お母さん安心してください。

最後になりましたが、母が那珂川病院に入院できたこと、良い先生やスタッフの皆さんに巡り会えたことは本当に良かったです。ありがとうございました。

（平成25年11月9日　追悼会のスピーチより）

緩和病棟にてひな祭りを開催

画像検査外来のお知らせ

当院では64列マルチスライスCT、1.5T MRI、デジタルマンモグラフィ、超音波検査、内視鏡検査などの最新の画像検査を受けることができます。

患者さん、検診希望者の方へ

症状がある場合

何らかの症状があり上記検査を希望される方は、当院外来を受診していただき、主治医より検査のオーダーをしていただきます。健康保険の適用となります。

症状がなく検診を希望される場合

現在症状がなく、上記検査を希望される場合は、「人間ドック（外来ドック・入院ドック）」、「生活習慣病予防健診（協会けんぽ）」、「福岡市各種検診（胃がん・乳がん）」などをご利用ください。詳しくは当院受付へお問い合わせください。

医療関係者の方へ（患者さんを紹介される場合）

※電話での予約と診療情報提供書をお願いしております。
※予約時に姓名および生年月日をお知らせください。また当院初診か再診かをお知らせください。
※原則として検査終了後、検査担当医もしくは当院主治医より結果のご説明をさせていただきます。

1. 放射線関係…CT（冠動脈CTを含む）、MRI、消化管透視、骨塩測定検査

放射線部にて予約受付をいたしております。
造影検査（CT、MRI）を希望される場合は、eGFRもしくはクレアチニン値をお知らせください。
MRIを希望される場合は体内に検査の支障となる金属がないかどうかお知らせください。
また閉所恐怖症がないかどうかご確認ください。

2. 内視鏡検査…上部消化管、下部消化管（大腸内視鏡）

外来看護師が予約受付をいたしております。
緑内障、心臓病、前立腺肥大症などがある方は、鎮痙剤（抗コリン剤）の使用が可能かどうかお知らせください。

3. 超音波検査…腹部超音波検査、心エコー

腹部超音波検査は検査技師が施行しております。予約は原則必要ありません。
受診時に診療情報提供書をお願いいたします。
心エコーは予約が必要で、外来看護師が予約受付をいたしております。

新任医師紹介

腎臓内科　藤澤 正寿

はじめまして、平成25年11月より勤務しています、藤澤（ふじさわ） 正寿（まさひさ）と申します。平成４年に久留米大学を卒業し、現在の久留米大学腎臓内科出身です。今まで、大学や関連病院などで腎疾患・透析医療を中心に携わってまいりました。当院でも、血液透析を受けておられる患者様が多く通われており、近年増加の一途をたどっている透析患者様の治療も高齢化・多様化してきていますので、微力ではありますが治療のお役に立てればと考えております。

今年で22年目のキャリアですが、当院ではまだまだ１年生ですので、自分のあしもとを常に見つめながら、一日でも早く病院スタッフの皆様とも力を合わせて、地域の方々の健康に寄与できるように頑張ってまいりたいと存じます。

これからも宜しくお願い致します。

【交通】西鉄バス系統番号4番・47番・62番・620番「那珂川病院前」下車すぐ　■駐車場150台

常勤医師診療担当表

医師名	担当領域
下川　敏弘	消化器外科、呼吸器外科、透析
大国　貴史	消化器外科、透析、漢方
古賀　健資	消化器外科、呼吸器外科
吉村　寛志	大腸・肛門外科、消化器外科
宮脇　龍一郎	循環器内科
筒井　伸一	消化器内科
大内田　敏行	放射線科
片桐　邦彦	脳神経外科
金宮　八重子	脳神経外科
原口　勝	緩和医療
古賀　善彦	リハビリテーション科（回復期）
熊澤　浩明	外科
福永　昌幸	麻酔科・外科・救急
竹内　一馬	血管外科・循環器内科
横山　良平	整形外科
月江　教昭	緩和医療・内科
安藤　智恵	循環器内科
犬塚　貞明	緩和医療
藤澤　正寿	腎臓内科

平成26年1月1日現在